

高等教育活性化シリーズ 239 (通算 560 回)

2013 年 7 月 19 日 (金)

アクティブLの進化スタイル——

“橋本メソッド”の衝撃～“楽ティブラーニング”のススメ

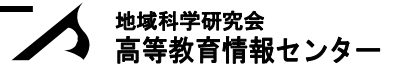
～ なぜ学習意欲の低い学生まで主体的に学び始めるのか ～

- ※ 橋本メソッドの5つの基準要素／ともあれミニワーク体験／学生参画型FD／更なる進化
- ※ なぜ橋本メソッド／女子短大での授業～何をどこまで、どの程度／学生たちの反応
- ※ やれば分かる橋本メソッドの有効性／ゲーム性は重要／“全体討議”と“グループ活動”
- ※ 学生主体の授業(2006～2009)→教学共同授業(08～12)→知識運用授業(13～)／授業進化の検証

● 講師陣 ●

橋本 勝 氏 / 富山大学 大学教育支援センター 教授・FD部門長
 小山 理子 氏 / 京都光華女子大学 短期大学部 ライフデザイン学科 講師
 金西 計英 氏 / 徳島大学 教育開放・支援センター 教授
 小山 昌宏 氏 / 東京外国語大学 非常勤講師

2013 年 7 月 19 日 (金) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



地域科学研究会
高等教育情報センター

日時：2013 年 7 月 19 日 (金) 13:30～19:00

会場：日本教育会館 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス：東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1 出口より徒歩 3 分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※会場の地図及び受講証を送付しますので必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代・懇親会費・税込) 39,000 円

B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 36,000 円(送料、税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名<(株)地域科学研究会>

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 239

“橋本メソッド”の衝撃～“楽ティブラーニング”のススメ

2013 年 月 日

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加

支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込

必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:30 ～ 15:00	<p>□ [基調報告] “楽ティブラーニング”のススメ ～ 主体的な学びのヒントとしての橋本メソッド ～</p> <p style="text-align: right;">富山大学 橋本 勝</p> <ol style="list-style-type: none"> 「質的転換答申」と主体的な学び <ol style="list-style-type: none"> 授業外学習時間を増やせば問題は解決するのか ディプロマ・ポリシーの実質化と主体的学び 「橋本メソッド」とは何か <ol style="list-style-type: none"> 5つの基本要素 アクティブラーニングから“楽ティブラーニング”へ 「本家」の授業実践例 「橋本メソッド」ミニワーク体験～何はともあれ体験してみましょう～ 更なる進化 <ol style="list-style-type: none"> 「新・橋本メソッド」の並行開講 学生参加型FDとの融合 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
	<p>[事例紹介]</p>
15:10 ～ 15:40	<p>A. 橋本メソッドの意義と限界 ～ 橋本メソッドへの短期大学部女子学生の反応 ～</p> <p style="text-align: right;">京都光華女子大学・短期大学部 小山 理子</p> <ol style="list-style-type: none"> 京都光華女子大短期大学部とは 橋本メソッドとの出会い <ol style="list-style-type: none"> なぜ、自分の授業に取り入れようと思ったのか 何をどこまで取り入れたのか 学生たちの反応 <ol style="list-style-type: none"> なかなか乗ってこない学生たち 学生たちを信じるうちに芽生えた変化 教員側の意識変化 今後の課題 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:40 ～ 16:10	<p>B. やれば分かる橋本メソッドの有効性 ～ 私が橋本メソッドを勝手に広め始めたワケ ～</p> <p style="text-align: right;">徳島大学 金西 計英</p> <ol style="list-style-type: none"> 橋本メソッドとの出会い <ol style="list-style-type: none"> 大人教授業の問題点 大学生が楽しく授業受けているけど、本当か? 「橋本メソッド」の実践を始めてみましょう <ol style="list-style-type: none"> ゲーム性は重要～全体討議とグループ活動 授業「情報メディアと教育」の例 やって分かったこと なぜ「橋本メソッド」は止められないのか <ol style="list-style-type: none"> 想定外のこと勃発 とにかくやってみましょう おまけ (学生討議によるコンサルテーション) <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:10 ～ 16:40	<p>C. 「学生主体授業」発, 「教学共同授業」経由, 「知識運用授業」着 ～ 橋本メソッドによる「学生主体授業」はいかに進化したか? ～</p> <p style="text-align: right;">東京外国語大学 小山 昌宏</p> <ol style="list-style-type: none"> 学生主体授業の取り組み (前提と実践: 2006～2009) <ol style="list-style-type: none"> 授業参加心構えの教学相互承認 授業出席率低下・私語 (集中力低下) 対策 橋本メソッドの私的理解と流用 小規模留学生授業における“メソッド”の実践 教学共同授業の取り組み (実践: 2008～2012) <ol style="list-style-type: none"> 中規模授業における“メソッド”の実践 中規模集中講義における“メソッド”の課題 中規模学部生・留学生混合授業の課題 “討論”中止からみえてきたもの 知識運用 (思考力向上) 授業の取り組み (2013～) <ol style="list-style-type: none"> 大規模授業における「知識運用」授業への転換 予習・復習用テキストの開発 前回講義の振り返り (復習) の充実 知識定着、興味、理論、知識運用 (思考力) プロセスのメソッド化 <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:50 ～ 17:10	<p>グループ討議</p>
17:10 ～ 17:35	<p>全体討議</p>
17:30 ～ 17:40	<p>橋本勝の綜括</p>
17:50 ～ 19:00	<p>[交流・懇親会] 講師陣を囲んで</p>